

調達要求番号：07-1-3986-0002-0001-00

海上自衛隊仕様書			
物品番号等	—	仕様書番号	SKS-9-00024
名称	消防設備定期点検・保守整備	防衛大臣承認年月日	—
		作成年月日	令和7年2月19日
		改正年月日	—
		沖縄基地隊	

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、海上自衛隊における消防設備定期点検・保守整備について規定する。

1.2 引用文書等

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、関連文書については、この仕様書に規定した事項の理解を助けるためのものであり、この仕様書の一部をなすものではない。

a) 引用文書

消防法（昭和23年法律第186号）

海上自衛隊契約規則の実施に関する細部（海幕経第183号。27.3.18）

b) 関連文書

消防法施行令（昭和36年政令第37号）

消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）

防衛省所管物品管理取扱規則（平成29年防衛省訓令第9号）

海上自衛隊契約規則（平成27年海上自衛隊達第4号）

秘密保全に関する達（平成19年海上自衛隊達第16号）

2 役務に関する要求

2.1 履行場所

沖縄基地隊（付図1～付図17）

2.2 履行期間

契約締結後から令和8年3月31日までの間とする。

2.3 役務の内容

役務の内容は、次による。

- 契約の相手方は、当該施設の正常な機能を維持するため、消防法第17条3の3及び消防関連法令に基づき、**付表1**から**付表3**に示す機器点検（6か月点検）及び総合点検（1年点検）を行う。また、泡消火設備（栈橋）の保守整備（**付表4**）を毎月1回実施し、実施時期については官側と協議する。
- 消防法に定める消防設備点検に必要な資格を有する者が、当該役務を実施する。

3 監督・検査

3.1 監督

監督官は、役務を円滑に実施するため、契約の相手方と連絡、調整、指示を行う。また、監督官は現場立会い及び確認等を行い、仕様書等の要求事項と作業内容が合致しているかを確認する。

3.2 検査

検査は、検査官による提出書類の審査により実施する。

4 その他の指示

4.1 提出書類

提出書類は、表 1 による。

表 1－提出書類

番号	書類名	部数	提出時期	提出先	備考
1	着手届	3	契約締結後速やかに	監督官	書式 2 2 ^{a)}
2	消防設備士及び消防設備点検資格者の資格免状の写し	1	契約締結後速やかに	監督官	様式適宜
3	消防用設備等定期点検計画書	1	契約締結後速やかに	監督官	様式適宜
4	栈橋泡消火設備保守管理計画書	1	契約締結後速やかに	監督官	様式適宜
5	消防用設備等点検結果報告書	2	消防設備点検後速やかに	監督官	様式適宜
6	栈橋泡消火設備保守整備報告書	1	保守整備後速やかに	監督官	様式適宜
7	終了届	3	役務終了後速やかに	検査官	書式 2 2 ^{a)}

注 a) 海上自衛隊契約規則に実施に関する細部（海幕経第 1 8 3 号。2 7. 3. 1 8）

4.2 安全管理

契約の相手方は、関係法令を遵守するとともに、各種災害を発生させることのないよう、万全の対策を講じる。

4.3 その他必要な事項

4.3.1 官側施設の入門手続き等

作業員等の官側施設の入門手続き等については、官側の指示に従い実施する。

4.3.2 保全等

- a) 契約の相手方は、日本国籍を有し、日本国憲法及びその下に成立した政府を暴力等で破壊することを主張する団体等、その他を結成し又は加入し若しくは協力していない者を配置する。
- b) 契約の相手方は、作業中及び運搬中の安全管理にそれぞれの関連する法規及び規則に従い、必要な措置を行う。

- c) 契約の相手方は、当該役務に関連して業務上知り得た秘密を、第3者に漏洩してはならない。
- d) 契約の相手方が当該役務実施中に官側施設及び器具等に損害を与えた場合は、無償で原状に復元する。
- e) 作業員等が作業実施のために基地内に立ち入る際は、入門許可証により許可を受ける。また、監督官から立ち入りの指示を受けた場所以外へは、許可なく立ち入ってはならない。

4.4.3 疑義事項

この仕様書において疑義が生じた場合は、契約担当官等と協議する。

付表1 消防設備定期点検(機器点検・機器点検及び総合点検)機器一覧表

番号	機器名称	数量	単位	機器点検	機器点検及び 総合点検	回数	総数
1	消火器						
	1 粉末消火器(10型)	83	本	1	1	2	166
	2 粉末消火器(20型)	5	本	1	1	2	10
	3 二酸化炭素消火器(15型)	15	本	1	1	2	30
	4 二酸化炭素消火器(50型)	3	本	1	1	2	6
	5 二酸化炭素消火器(100型)	1	本	1	1	2	2
2	自動火災報知設備						
	1 受信機P型1級	6	面	1	1	2	12
	2 受信機P型2級	1	面	1	1	2	2
	3 P型1級発信機	24	個	1	1	2	48
	4 差動式スポット型感知器	174	個	1	1	2	348
	5 定温式スポット型感知器	24	個	1	1	2	48
	6 煙感知器	56	個	1	1	2	112
	7 起動装置(発信機、押しボタン)	29	個	1	1	2	58
	8 音響装置	30	個	1	1	2	60
	9 表示灯	25	個	1	1	2	50
	10 常用電源	7	箇所	1	1	2	14
	11 消火栓起動装置	1	面	1	1	2	2
3	防排煙設備						
	1 煙感知器	8	個	1	1	2	16
	2 防火戸	3	箇所	1	1	2	6
4	泡消火設備(燃料管理棟)						
	1 貯水槽	1	組	1	1	2	2
	2 消火ポンプ制御盤	1	面	1	1	2	2
	3 泡消火設備制御盤	1	面	1	1	2	2
	4 泡消火設備地区操作盤	2	面	1	1	2	4
	5 加圧送水装置(*)	1	組	1	1	2	2
	6 泡消火薬剤貯蔵槽	1	基	1	1	2	2
	7 電動仕切弁	3	個	1	1	2	6
	8 泡消火栓	6	組	1	1	2	12
	9 非常警報装置	6	面	1	1	2	12
	10 放水試験	1	式		1	1	1
5	泡消火設備(棧橋)						
	1 泡消火設備制御盤	1	面	1	1	2	2
	2 泡モニター砲現場操作盤	6	面	1	1	2	12
	3 消火ポンプ制御盤	1	面	1	1	2	2
	4 エンジン起動盤	1	面	1	1	2	2
	5 加圧送水装置(*)	1	組	1	1	2	2
	6 泡消火薬剤貯蔵槽	1	基	1	1	2	2
	7 泡消火薬剤混合装置	1	組	1	1	2	2
	8 電動仕切弁	1	個	1	1	2	2
	9 泡モニター砲	15	基	1	1	2	30
	10 泡モニター砲仕切弁	15	個	1	1	2	30
	11 放水試験	1	式		1	1	1
6	非常警報装置						
	1 起動装置	3	個	1	1	2	6
	2 音響装置	3	個	1	1	2	6
	3 表示灯	3	個	1	1	2	6
7	消火栓						
	1 加圧送水装置	1	組	1	1	2	2
	2 操作盤	1	面	1	1	2	2
	3 屋内消火栓	8	箇所	1	1	2	16
	4 屋外消火栓	10	箇所	1	1	2	20
	5 放水試験	14	箇所		1	1	14
8	誘導灯						
1 誘導灯	11	個	1	1	2	22	

* 加圧送水装置は、電動機、ポンプ等関連装置をすべて含む。

付表2ー消防設備定期点検内訳表(2/2)

	庁舎	甲板倉庫	予備電源室	第1隊舎	第2隊舎	管理棟	地下タンク貯蔵所(管理棟)	燃料移送取扱所	油脂庫(危険物屋内貯蔵庫)	施設シヨップ	車庫	厚生センター	衛生科	ポンプ室	プール	地下タンク貯蔵庫(プール)	体育館	警衛所	補給科倉庫	ドラム缶ヤード	燃料管理棟	燃料タンクポンプ室	油脂庫(補給科)	第2変電所	水中処分隊	造修工場	舟艇庫	棧橋地区	合計	
6 非常警報装置																														
起動装置						2						1																		3
音響装置						2						1																		3
表示灯						2						1																		3
7 屋内・外消火栓設備																														
加圧送水装置														1																1
操作盤													1																	1
屋内消火栓	4			2	1							1																		8
屋外消火栓	1			1		1			1		1	1		1		1		1		1					1					10
放水試験	2			2	1	1			1		1	2		1		1		1		1				1						14
8 誘導灯																														
誘導灯												6					5													11

1 消防法の規定に基づき機器点検及び総合点検を実施する。

2 点検の結果、軽微な調整を要する事象については、機器の許容範囲の調整を実施し、部品交換を要する修理については、監督官と協議をするものとする。

3 点検実施時期

①機器点検：令和7年7～9月(実施日については、監督官と調整するものとする。)

②機器点検及び総合点検：令和8年1～3月(実施日については、監督官と調整するものとする。)

4 点検の結果は、消防庁告示に定める点検表に記録し、2部作成して監督官に提出するものとする。

付表－3 消火器設置位置一覧表（1／4）

1 ABC消火器

番号	種別	設置位置
1	ABC 消火器 (3.0 kg)	事務室 2－2 (庁舎 2 階)
2		事務室 2－3 (庁舎 2 階)
3		庁舎 2 階司令室前通路
4		庁舎 2 階給湯室前通路
5		庁舎 1 階通信所事務室前通路
6		事務室 1－6 (庁舎 1 階)
1	ABC 消火器 (6.0 kg)	庁舎 1 階給湯室前通路
7	ABC 消火器 (3.0 kg)	甲板倉庫 (プレハブ)
8		本部予備電源室
9		第 1 隊舎通路西
10		第 1 隊舎通路東
11		第 2 隊舎通路西
12		第 2 隊舎通路東
13		管理棟ボイラー室
14		地下タンク貯蔵所 (ボイラ用)
15		
16		管理棟資料室前通路
17		
18		管理棟調理室
19		
20		本部油脂庫 (危険物屋内貯蔵所)
2	ABC 消火器 (6.0 kg)	燃料移送取扱所
3		
21	ABC 消火器 (3.0 kg)	施設ショップ事務室前
22		車庫南側大扉西
23		車庫南側大扉東
24		車庫北側大扉西
25		車庫北側大扉東

付表－3 消火器設置位置一覧表（2／4）

番号	種 別	設置位置
26	ABC 消火器 (3.0 kg)	地下タンク貯蔵所（プールボイラ用）
27		
28		プール管理棟機械室
29		プール管理棟薬品庫
30		プール室西側南
31		プール室西側中央
32		プール室西側北
33		プール室東側中央
34		プール室東側南
35		プール管理棟男子更衣室
36		プール管理棟女子更衣室
37		厚生センター通路ATM前
38		厚生センター委託食堂
39		厚生センター談話室前通路
40		衛生科身体検査室前通路
41		衛生科診療棟病室入口前通路
42		体育館玄関
43		体育館コート入口側北隅
44		体育館コート舞台側北隅
45		体育館コート舞台側南隅
46		体育館コート玄関側南隅
47		体育館2階トレーニング室
48		体育館機械室
49		警衛所
50		水中処分隊高圧ガス貯蔵所
51		水中処分隊待機室事務室
52		水中処分隊整備室
53		水中処分隊油脂庫
54		水中処分隊油脂庫屋外
55		造修工場西側入口
56		造修工場造修科事務室
57		造修鉄工所

付表－3 消火器設置位置一覧表（3／4）

番号	種 別	設置位置	
58	ABC 消火器 (3.0 kg)	補給倉庫北側中央	
59		補給倉庫被服庫前	
60		補給倉庫東側入口	
61		補給科油脂庫外	
62		補給科油脂庫中	
63		第2変電所	
64		燃料管理棟発電機室	
65		燃料管理棟消火ポンプ室	
66		燃料管理棟資材庫	
67		燃料管理棟事務室	
68			
4		ABC 消火器 (6.0 kg)	ドラム缶ヤード
5			
69	ABC 消火器 (3.0 kg)	燃料タンクポンプ室 (No.1) (5,000KL)	
70		燃料タンクポンプ室 (No.2) (5,000KL)	
71		掃海艇棧橋機械室電気室	
72		掃海艇棧橋機械室消火ポンプ室	
73			
74		舟艇庫1階器材庫(1)	
75		舟艇庫1階器材庫(2)	
76			
77		舟艇庫1階事務室(1)	
78		舟艇庫2階通路東	
79		舟艇庫2階通路西	
80		舟艇庫3階作業室前通路	
81		舟艇庫3階事務室(1)前通路	
82		舟艇庫3階事務室(5)	
83			

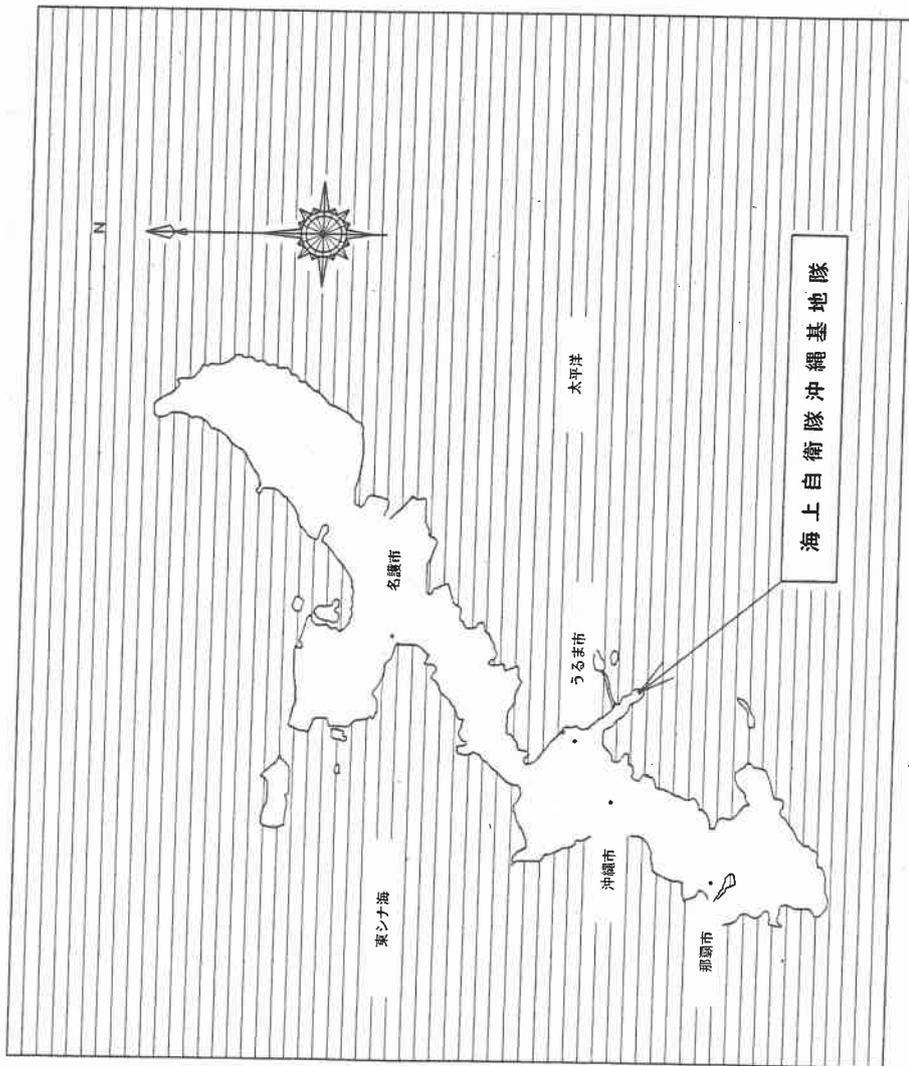
付表－3 消火器設置位置一覧表（4／4）

2 CO2消火器

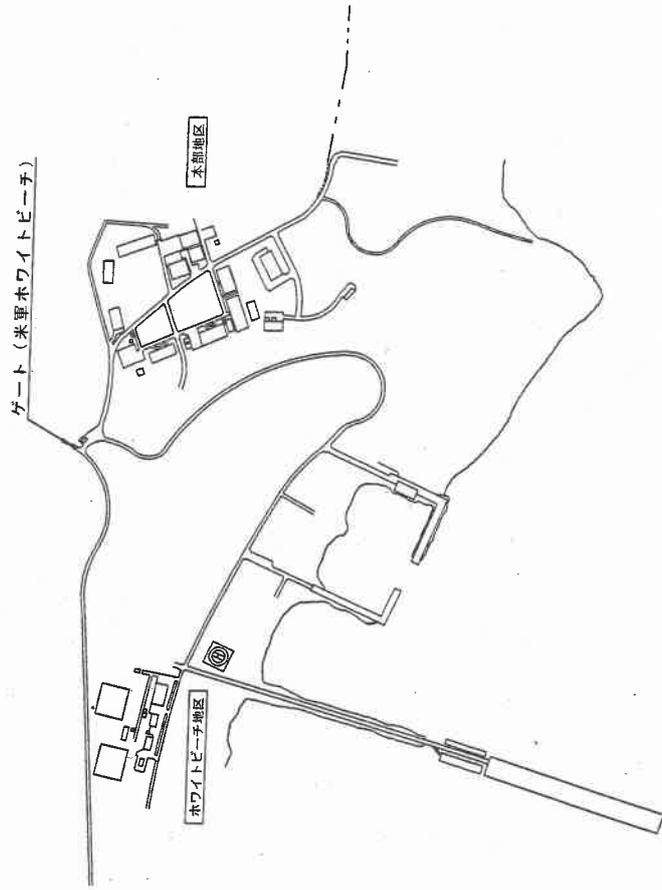
番号	種別	設置位置
1	CO2消火器	事務室1－2（庁舎1階）
2		庁舎1階空調室
3		庁舎1階通信室前通路
4		事務室1－6（庁舎1階）
5		本部予備電源室
6		第1隊舎機械室
7		管理棟受電室
8		施設ショップ事務室前
9		プール管理棟機械室
10		厚生センター受電室
11		ポンプ室
12		衛生科診療棟空調室
13		造修工場機器室
14		事務室2－1（庁舎2階）
15		補給倉庫東側入口
16		舟艇庫1階整備室
17		
18		
19		

付表4-泡消火設備（棧橋）保守整備要領表

項 目		数量	回数	総数
1 泡消火設備（棧橋）				
1 泡モニター砲	外装損傷の有無	15	12	180
	旋回俯仰の駆動（手動操作及び遠隔操作）			
	外装（特に可動部）の清掃・注油			
	駆動油の点検	15	1	15
	本体・砲座グリスの注油			
	砲台、砲身の清掃及び塗装（エポキシ系耐塩塗料）R36-142又はマントル7.5R3/12			
2 泡モニター砲仕切弁	外装損傷の有無	15	12	180
	仕切弁の開閉（手動操作）			
	外装（特に可動部）の清掃・注油			
	弁棒の注油	15	1	15
	仕切弁の清掃及び塗装（エポキシ系耐塩塗料）R36-142又はマントル7.5R3/12			
3 電動弁（ポンプ室元弁）	外装損傷の有無	1	12	12
	電動弁の開閉（手動操作及び遠隔操作）			
	外装（特に可動部）の清掃・注油			
	弁棒の注油	1	1	1
	外装の清掃			
4 泡消火設備制御盤	各表示灯の確認	1	12	12
	制御盤外装及び内部清掃	1	1	1
5 泡モニター砲現場操作盤	各表示灯の確認	6	12	72
	操作盤外装及び内部清掃	6	1	6
6 消火ポンプ制御盤	各表示灯の確認、電圧の確認、切替器「自動」確認 警報機「接」確認	1	12	12
	制御盤外装及び内部清掃	1	1	1
	各表示灯確認、電圧計切替スイッチ「整流器」確認 電圧の確認、警報スイッチ「接」確認	1	12	12
7 エンジン起動盤	起動盤外装及び内部清掃	1	1	1
	各表示灯確認、電圧計切替スイッチ「整流器」確認 電圧の確認、警報スイッチ「接」確認	1	12	12
	起動盤外装及び内部清掃	1	1	1
8 エンジン	かかり具合及び異音	1	12	12
	排気の状態			
	オイルの汚れ、オイル漏れ、オイルの量			
	冷却装置の水漏れ、水量、ラジエーターキャップの状態			
	V-ベルトのゆるみ及び損傷			
	充電装置の充電作用			
	各メーター、スイッチ類の作動具合			
	バッテリー液量、液比重、液補充			
	サーブिसインジゲーターの表示 （赤色表示が出ているときはエレメントを清掃）			
	エアフィルターエレメントの状態 （エレメントに異常がないこと、エレメント清掃）			
	エアヒーター（始動補助装置）			
	電気配線接続部及び各部ボルトの緩み損傷			
	エンジンマウンティングボルトの緩み			
	フェューエルストレーナー及びフィルターの清掃			
フィードポンプゴーズフィルターの清掃				
9 電動機・減速機・潤滑油ポンプ	損傷の有無	1	12	12
	外装の清掃	1	1	1
	駆動油の点検及びグリスの注油	1	1	1
10 泡消火薬剤貯蔵槽	損傷の有無	1	12	12
	外装の清掃	1	1	1

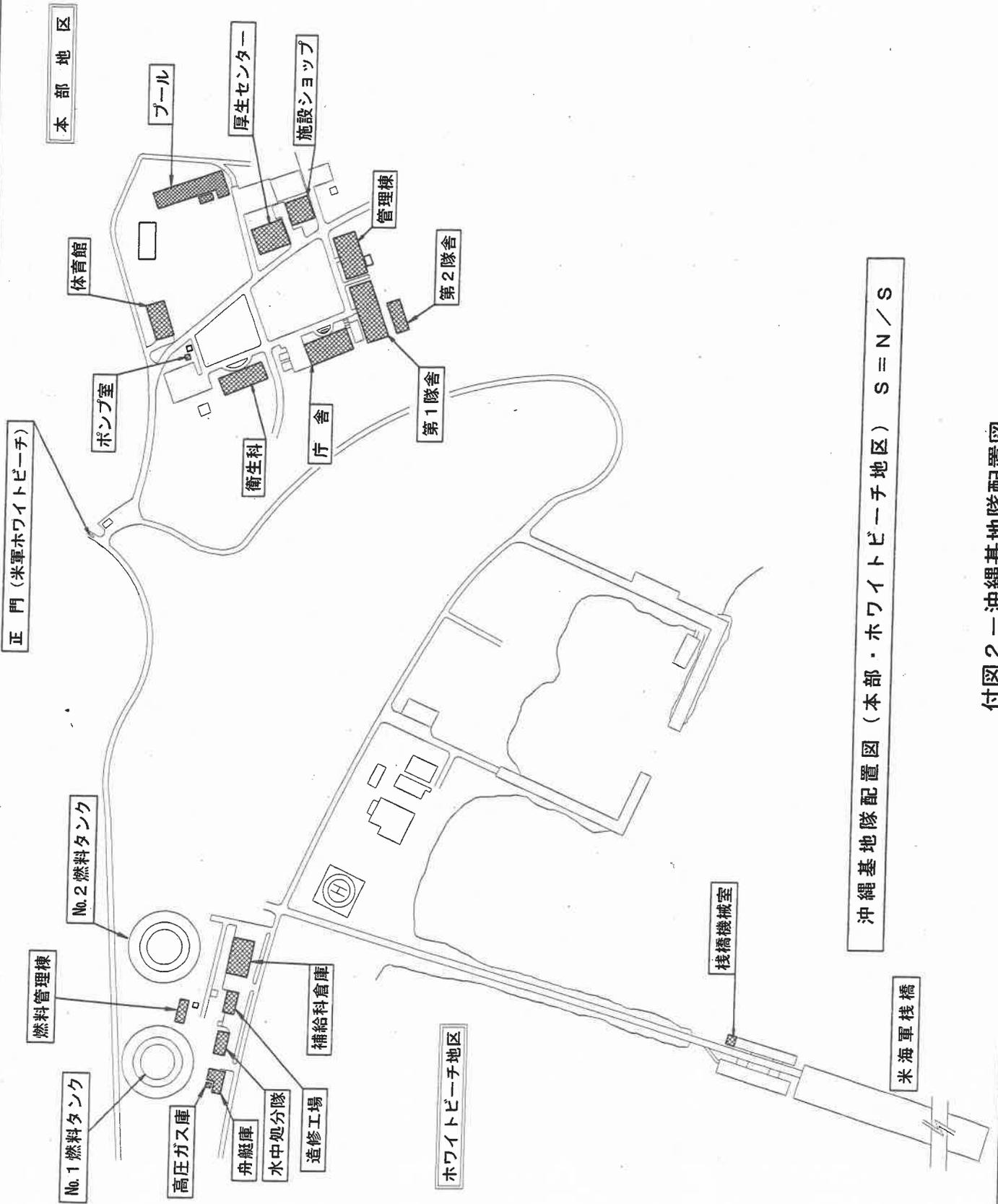


案内図 N/S



沖縄基地隊 (本部・ホワイトビーチ地区) N/S

付図1一案内図

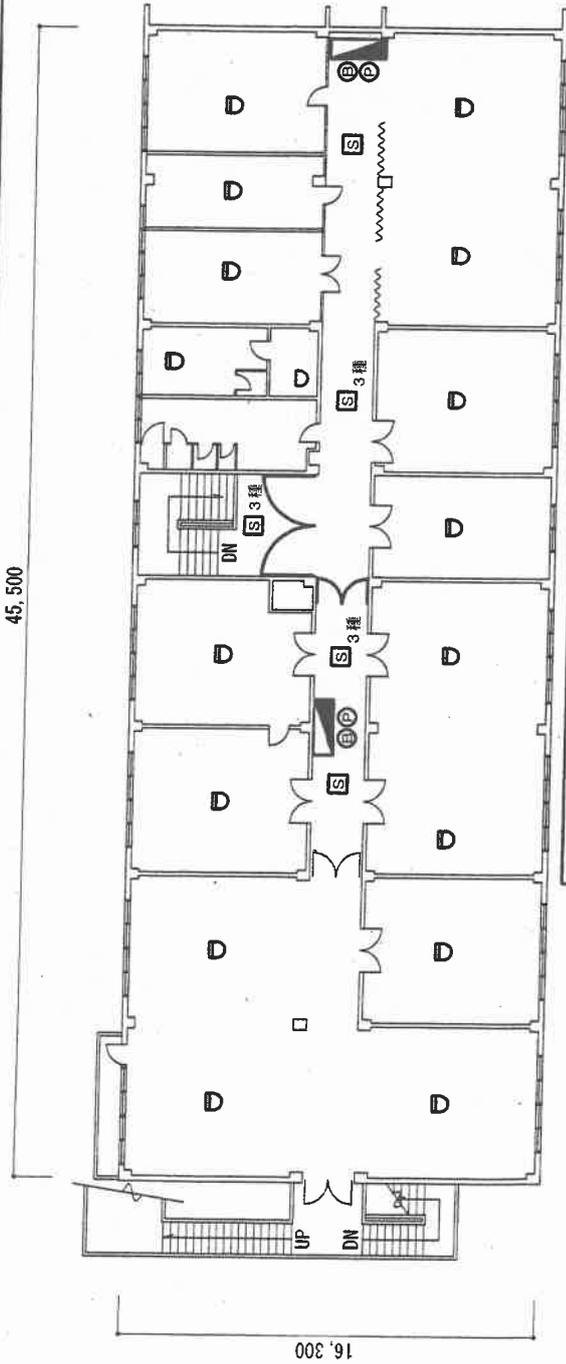


沖繩基地配置図 (本部・ホワイトビーチ地区) S = N / S

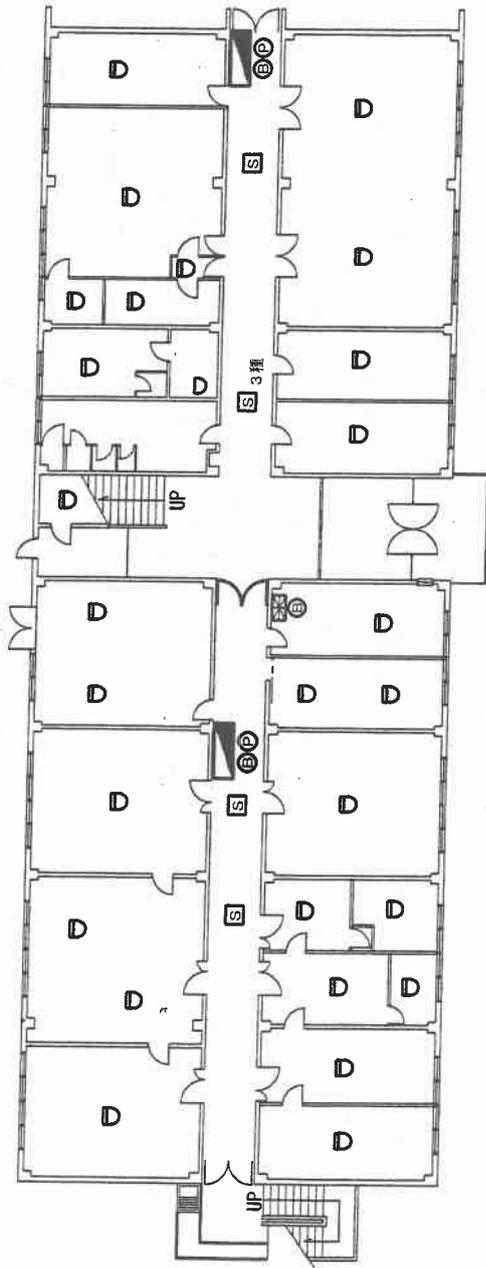
付図2-1 沖繩基地隊配置図

凡例

記号	名称
㊦	P型受信機
㊧	火災警報ベル
㊨	P型発信器(表示灯付)
㊩	定温式スポット型感知器
㊪	差動式スポット型感知器
㊫	煙感知器
㊬	防火扉
㊭	屋内消火栓
㊮	屋外消火栓

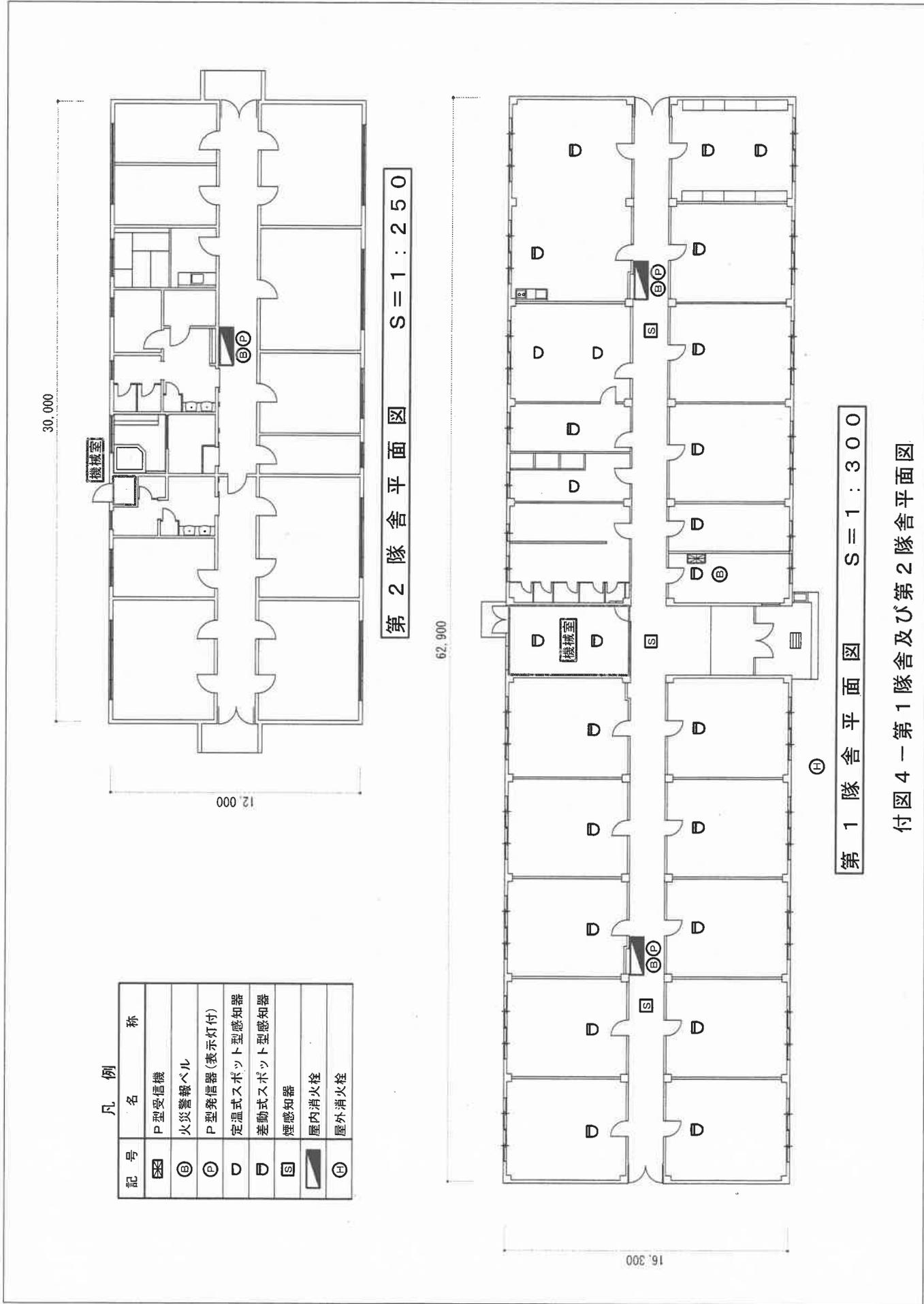


倉舎2階平面図 S=1:300



倉舎1階平面図 S=1:300

付図3-1 倉舎平面図



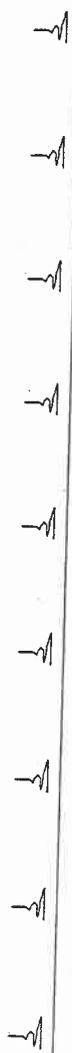
凡例	記号	名称
	☒	P型受信機
	ⓐ	火災警報ベル
	ⓑ	P型発信器(表示灯付)
	Ⓓ	定温式スポット型感知器
	Ⓔ	差動式スポット型感知器
	Ⓢ	煙感知器
	▨	屋内消火栓
	Ⓣ	屋外消火栓

第2隊舎平面図 S=1:250

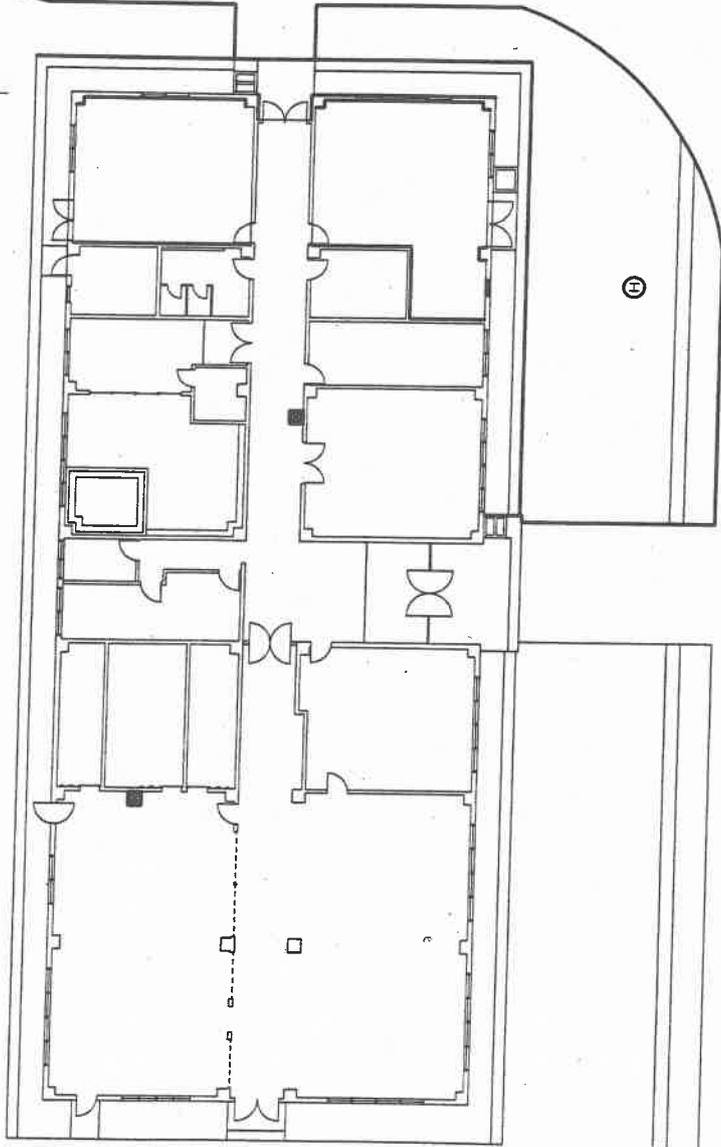
第1隊舎平面図 S=1:300

付図4-第1隊舎及び第2隊舎平面図

側溝



39,700



16,300

側溝

管理棟平面図 S=1:300

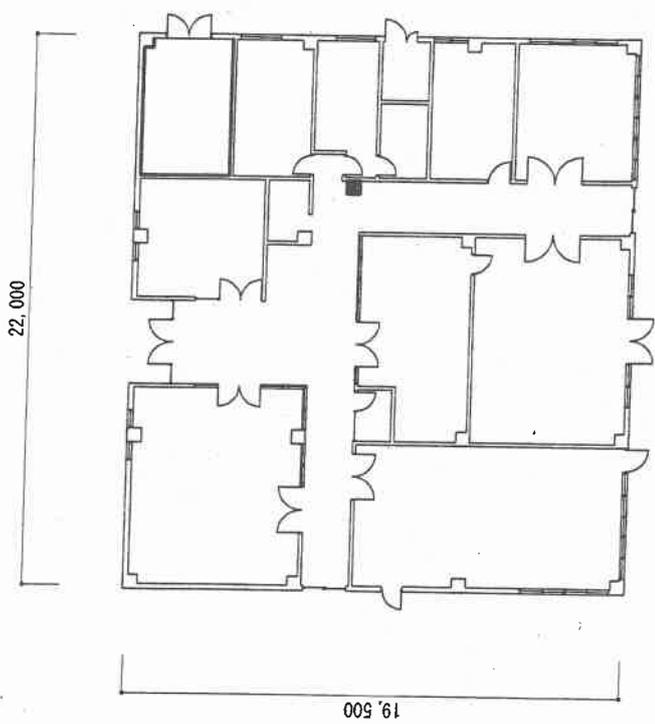
凡例

記号	名	称
■	非常警報設備	
⊕	屋外消火栓	

付図5-管理棟平面図

凡例

記号	名称
■	非常警報設備
⊕	屋外消火栓

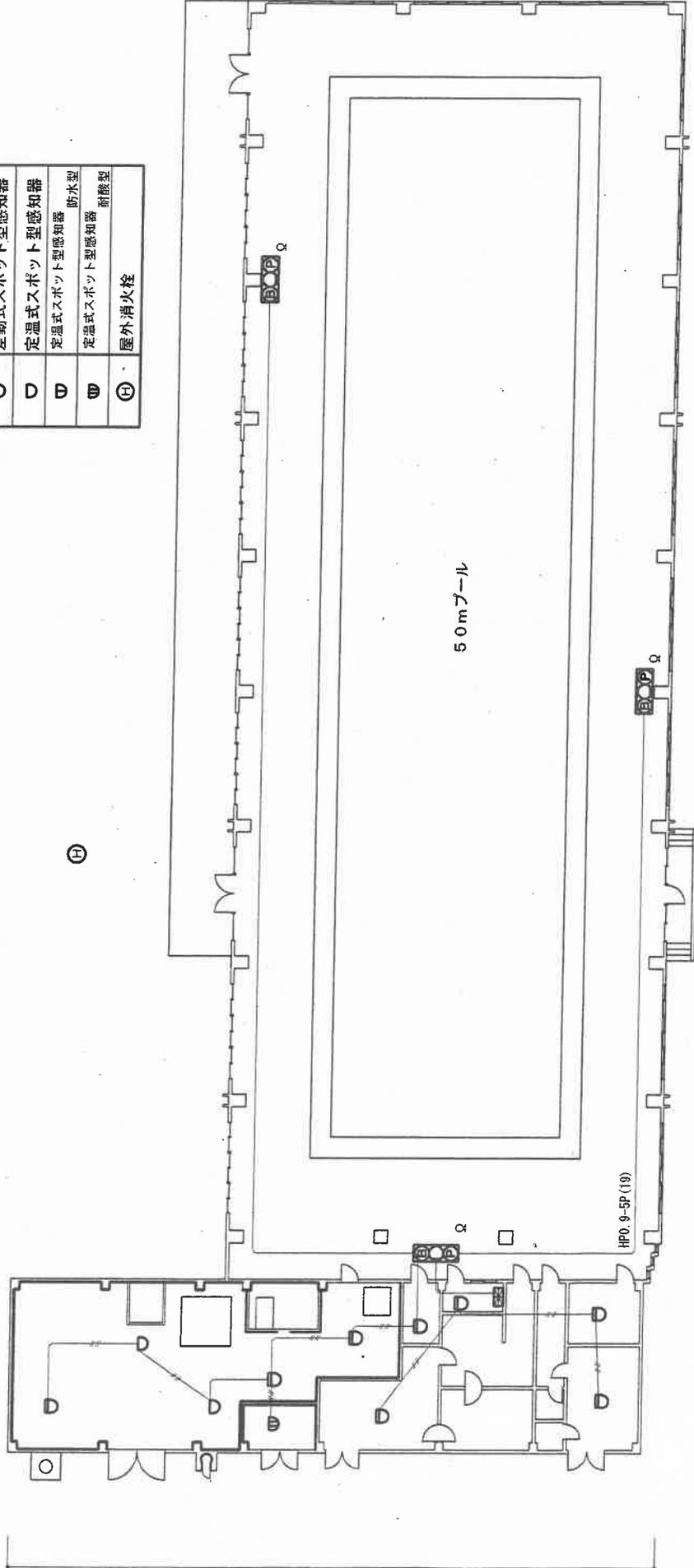


厚生センター平面図 S=1:300

付図6-厚生センター平面図

凡例

記号	名称
☒	P型受信機
Ⓜ	火災警報ベル
ⓐ	P型発信器(表示灯付)
ⓑ	差動式スポット型感知器
ⓒ	定温式スポット型感知器
ⓓ	定温式スポット型感知器 防水型
ⓔ	定温式スポット型感知器 耐酸型
ⓕ	屋外消火栓



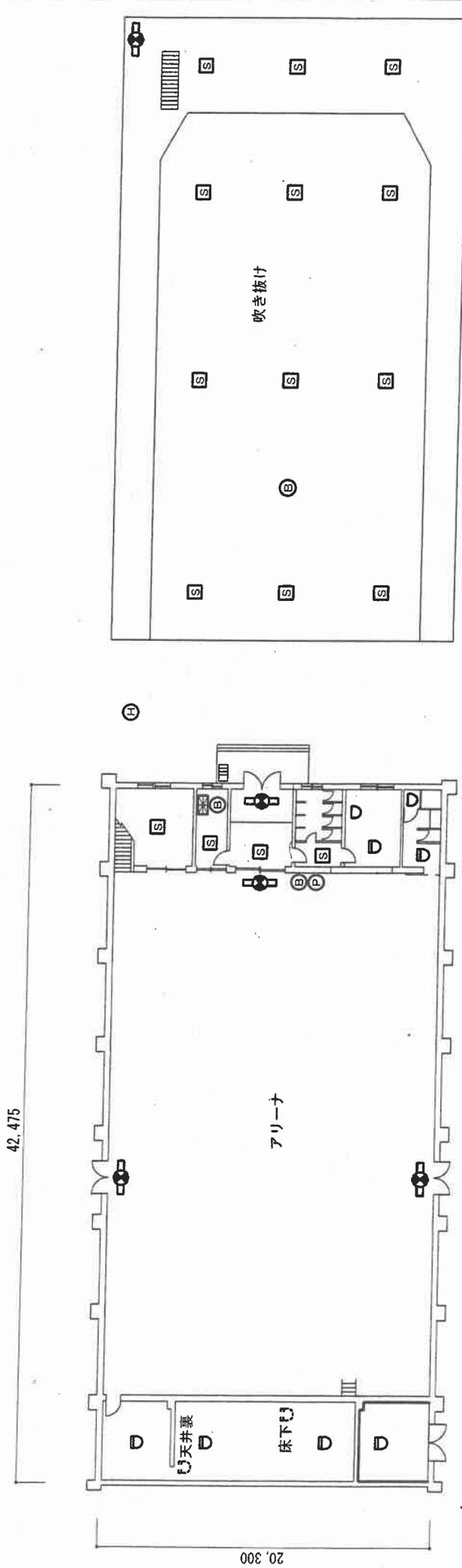
30,800

プール平面図 S=1:300

付図7-プール平面図

凡例

記号	名称
☒	P型受信機
⊙	火災警報ベル
Ⓟ	P型発信器(表示灯付)
▽	定温式スポット型感知器
◻	差動式スポット型感知器
S	煙感知器
☒	誘導灯
Ⓜ	屋外消火栓



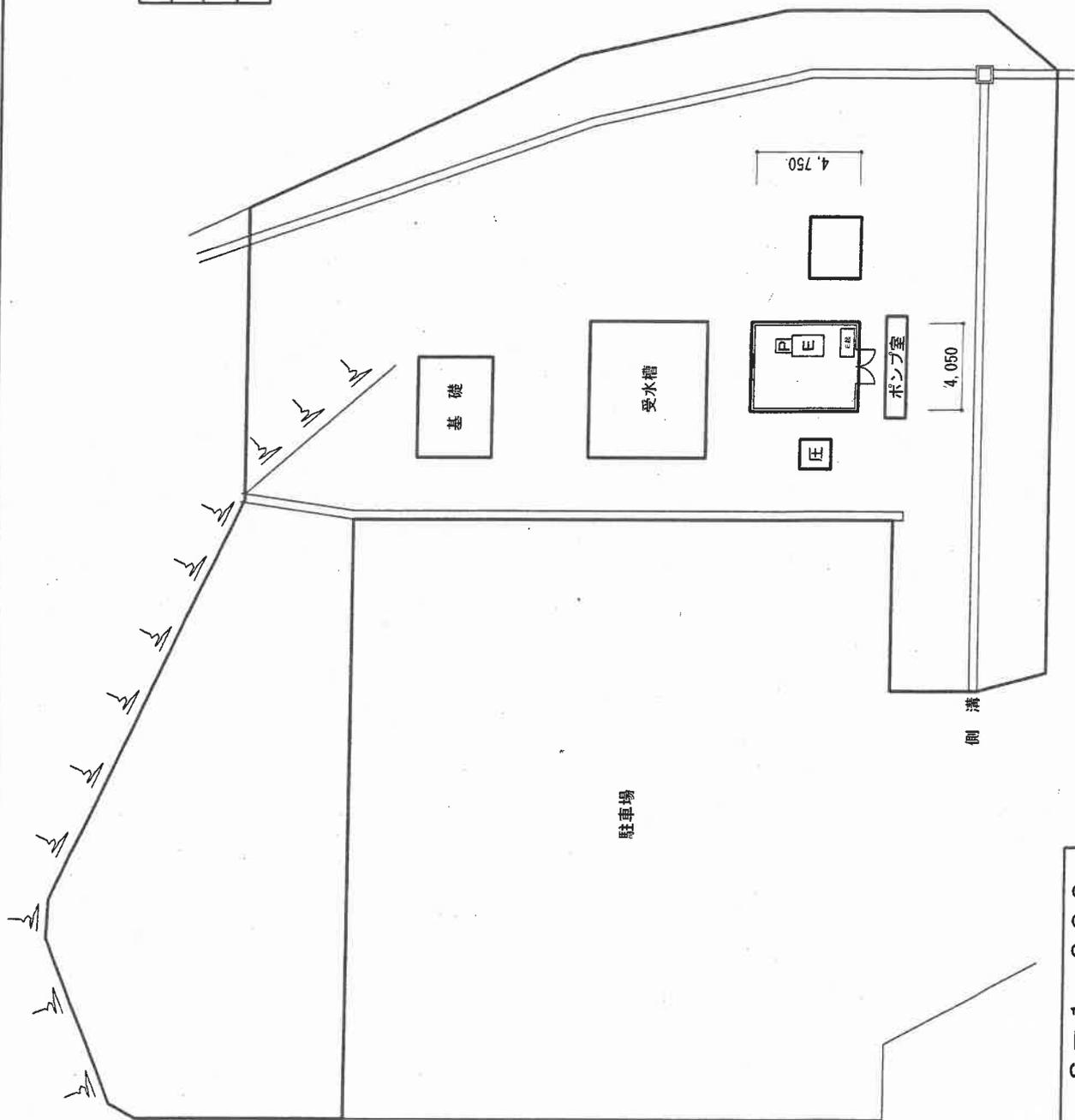
体育館 1 階 平面図 S=1:350

体育館 2 階 平面図 S=1:350

付図 8 - 1 体育館平面図

凡 例

記号	名 称
P	消火ポンプ
E	エンジン
E起	エンジン自動起動盤

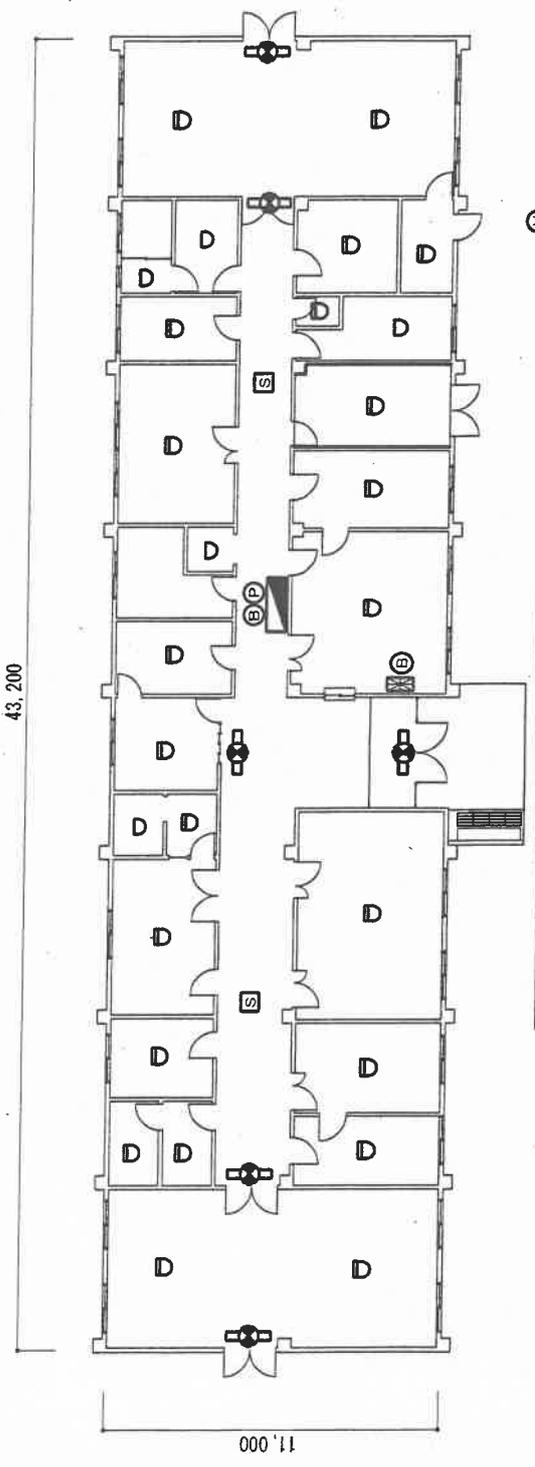


ポンプ室平面図 S = 1 : 300

付図9ーポンプ室平面図

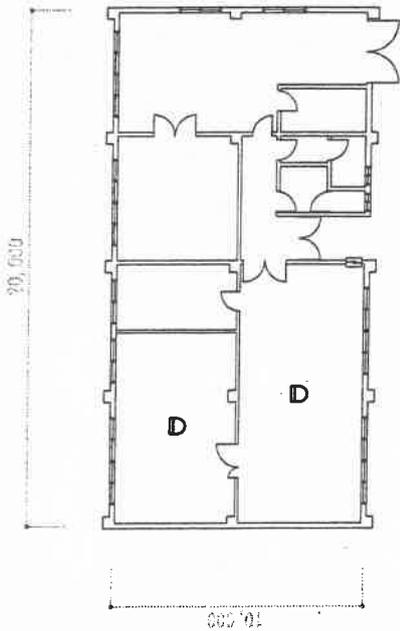
凡例

記号	名称
☒	P型受信機
Ⓢ	火災警報ベル
ⓐ	P型発信器(表示灯付)
∇	定温式スポット型感知器
▽	差動式スポット型感知器
Ⓢ	煙感知器
ⓐ	誘導灯
▬	屋内消火栓
ⓐ	屋外消火栓

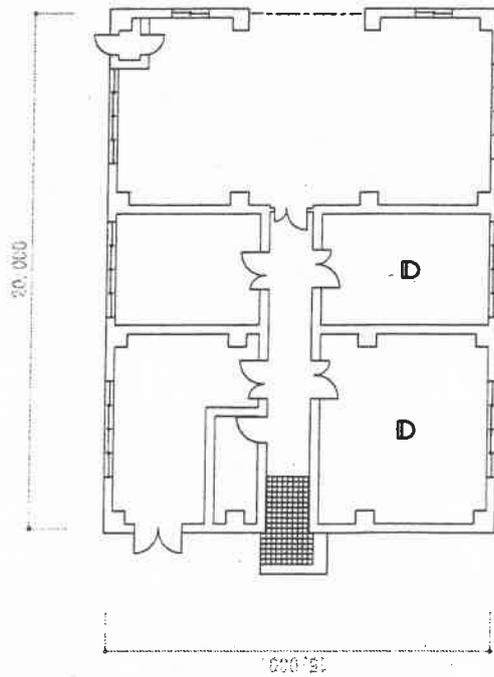


衛生科平面図 S=1:250

付図10-衛生科平面図



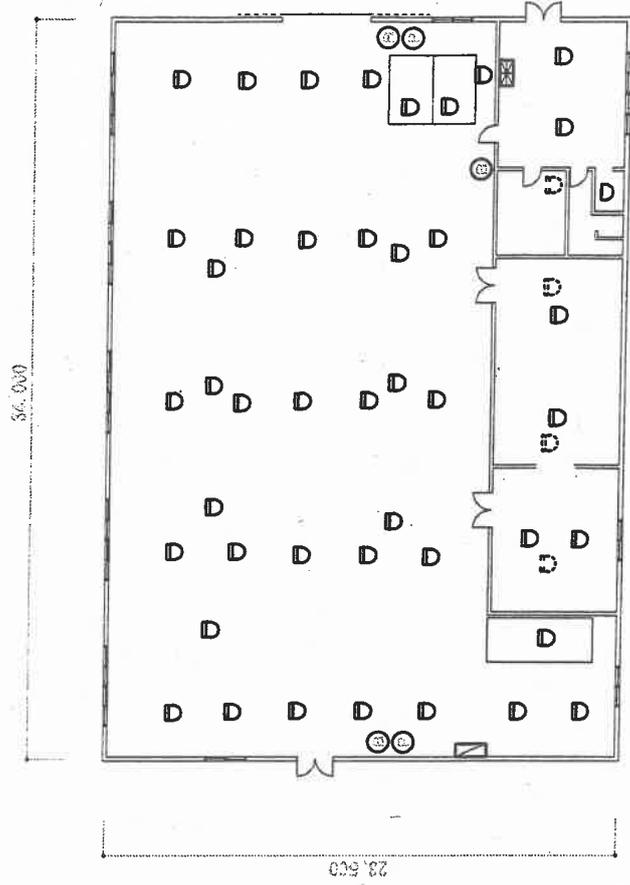
処分隊待機室平面図 S=1:300



造修工場平面図 S=1:300

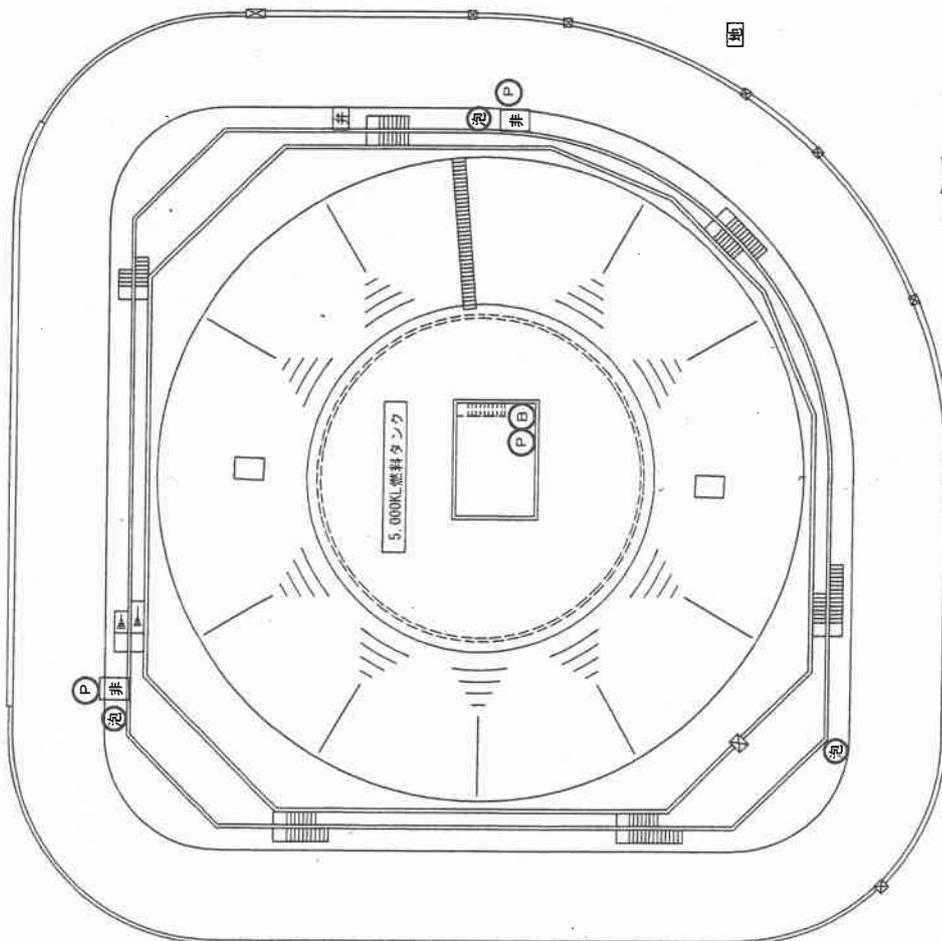
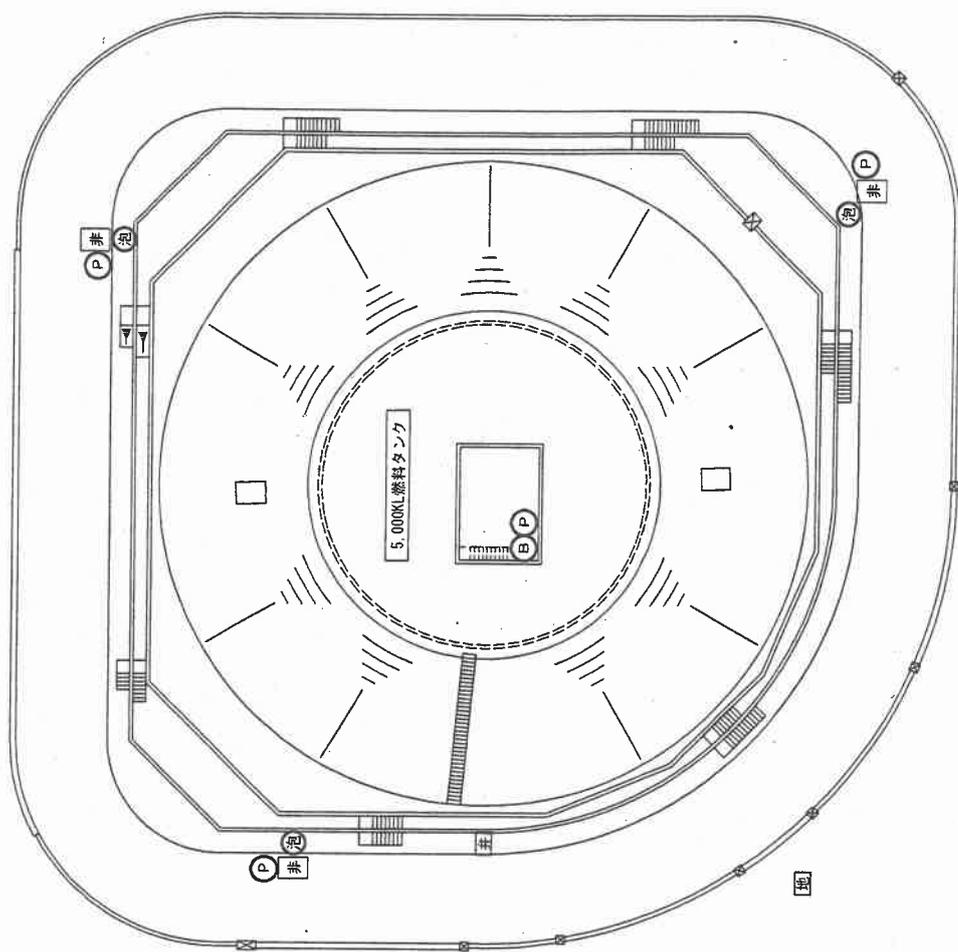
凡例

記号	名称
①	空調設備
②	伊良波機ハル
③	可燃物警報器(感示付)
④	液温式スポット温度感知器
⑤	定動式スポット温度感知器
⑥	屋外消火栓



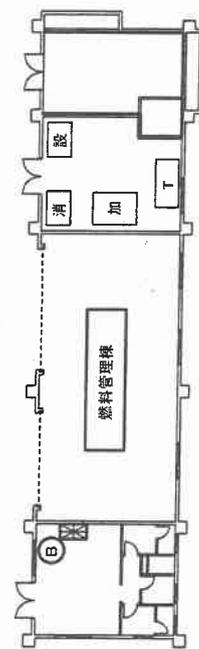
補給科倉庫平面図 S=1:350

付図11-補給科倉庫及び造修工場・処分隊平面図



凡例

記号	名称	備考
消	消火ポンプ制御盤	
設	泡消火設備制御盤	
地	泡消火設備地区操作盤	
T	泡消火薬剤貯蔵槽	
加	加圧送水装置	電動機、ポンプ等 関連装置を全て含む
井	電動仕切井	
泡	泡消火栓	
非	非常警報装置	
B	火災警報ベル	
P	P型発信器(表示灯付)	



5,000KL燃料タンク平面図 S=1:600

付図12-燃料タンク平面図

凡例

記号	名称	形式	数量
□	泡モニタ一砲現場操作盤		4
■	泡モニタ一砲	NFN-RH4C-2000	8
△	泡モニタ一砲仕切弁	10K-150A	8

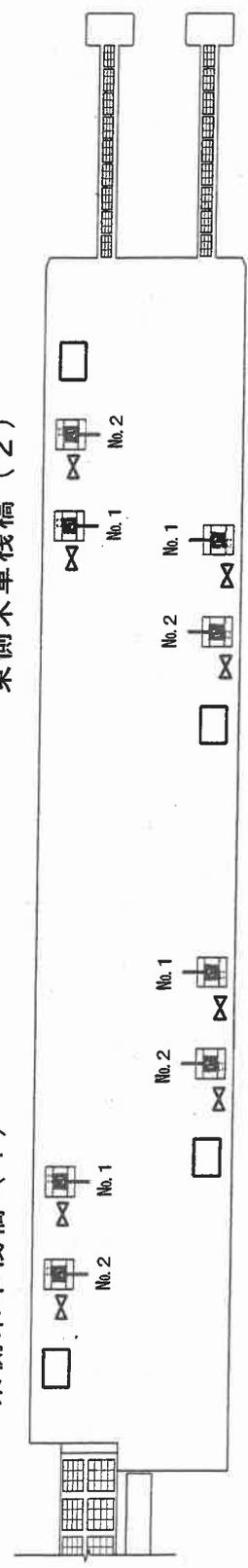
東側

241,400

6,000

東側米軍棧橋 (1)

東側米軍棧橋 (2)

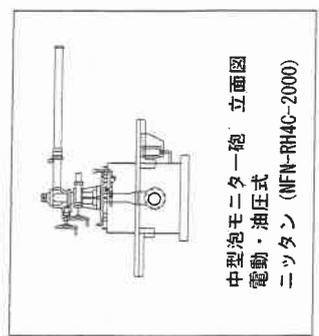


西側米軍棧橋 (1)

西側米軍棧橋 (2)

西側

米海軍棧橋平面図 S = 1 : 1, 500

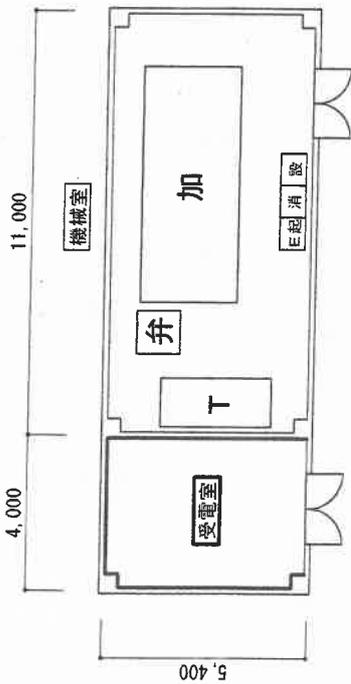


中型泡モニタ一砲 立视图
電動・油圧式
ニツタン (FNFN-RH4C-2000)

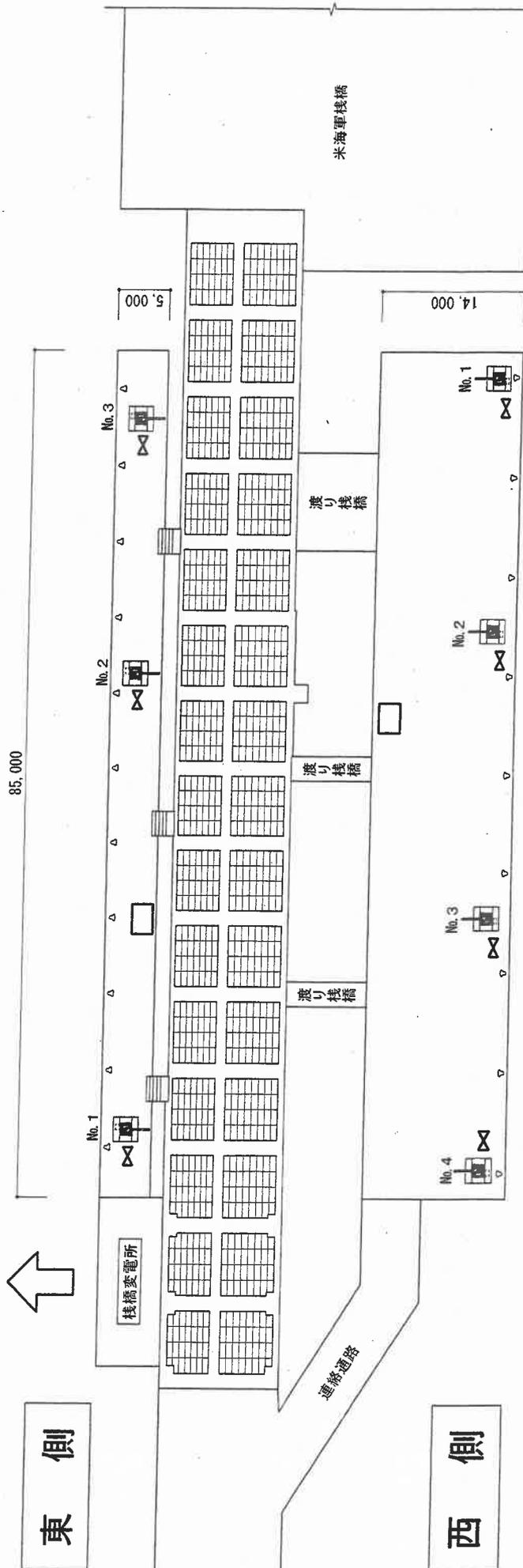
付図 13 - 米海軍棧橋平面図

凡例

記号	名称	備考
□	泡モニター砲現揚操作盤	
■	泡モニター砲	NFN-RH4C-2000
△	泡モニター砲仕切弁	10K-150A
消	消火ポンプ制御盤	
設	泡消火設備制御盤	
E起	エンジン起動盤	
T	泡消火薬剤貯蔵槽	
加	加圧送水装置一式	電動機、エンジン、ポンプ等 関連装置を全て含む
弁	電動仕切弁	LITMD-01



棧橋変電所及び機械室平面図 S=1:200



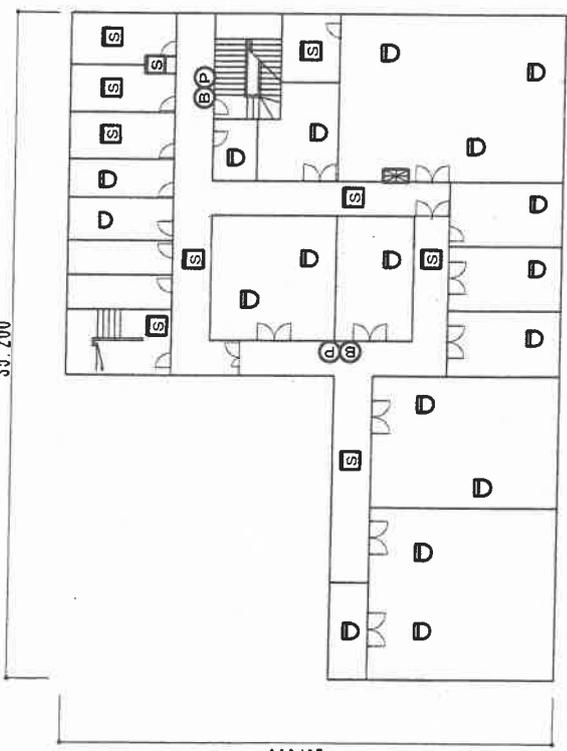
掃海艇棧橋平面図 S=1:600

付図14-棧橋変電所及び掃海艇棧橋平面図

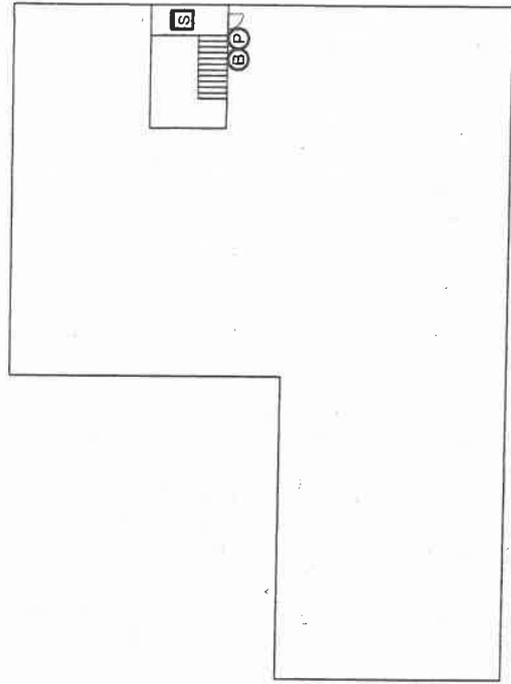
凡例	記号	名称
	☒	P型受信機
	⊙	火災警報ベル
	⊕	P型発信器(表示灯付)
	□	定温式スモット型感知器
	▽	差動式スモット型感知器
	⊠	煙感知器

35.200

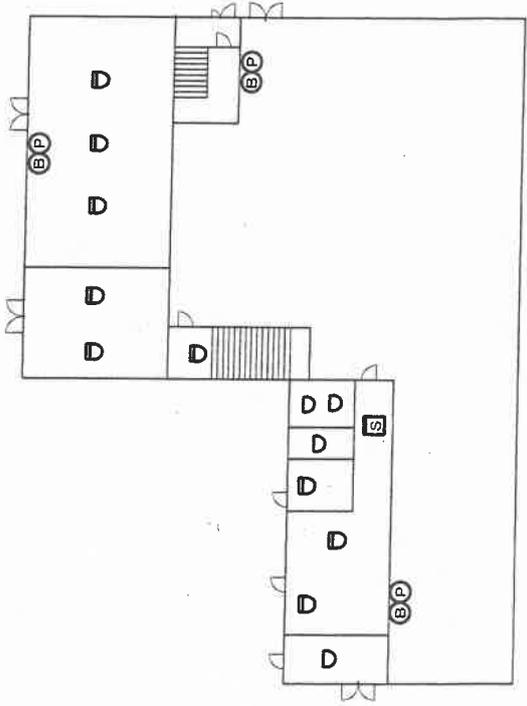
26.000



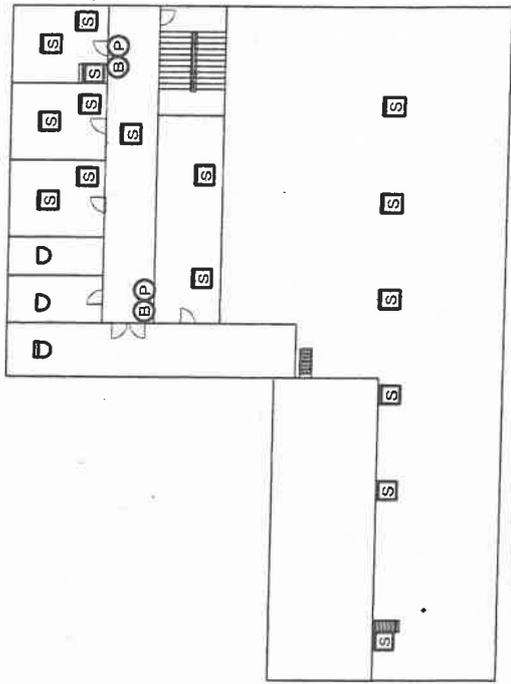
舟艇庫3階平面図 S=1:400



舟艇庫R階平面図 S=1:400



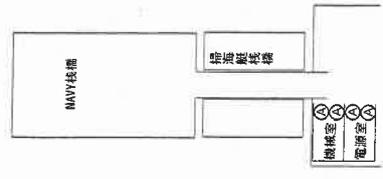
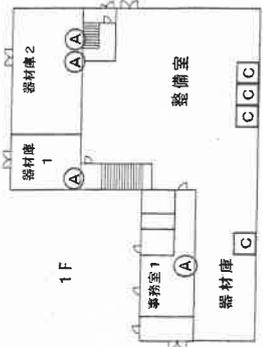
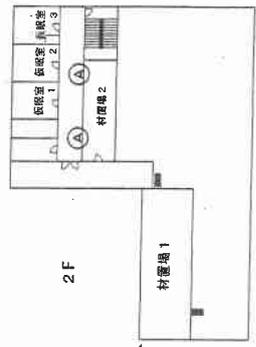
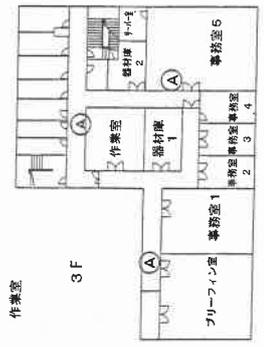
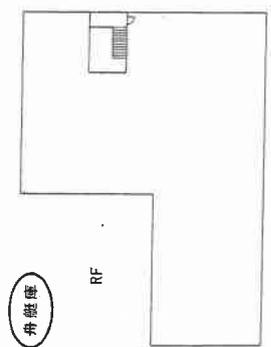
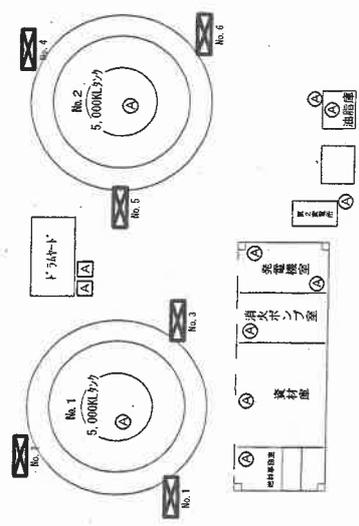
舟艇庫1階平面図 S=1:400



舟艇庫2階平面図 S=1:400

付図1.5-舟艇庫平面図

記号	名称
☒	屋内消火栓
☒	屋外消火栓
Ⓐ	粉末消火器 (3.0kg)
Ⓐ	粉末消火器 (6.0kg)
Ⓒ	CO ₂ 消火器 (20.0kg)
Ⓒ	CO ₂ 消火器 (50.0kg)
Ⓜ	防火戸
Ⓕ	泡沫発生装置



補給科



造修科



処分隊



高圧
弁入庫

付図17-1 消火栓、消火器等配置図 (W/B地区)